

# 心肺蘇生の手順 (G-2020)

卒倒を目撃した・居合わせた  
胸骨圧迫のみで対応の場合

卒倒者を発見 (遭遇) した

周囲の確認 (安全確認・環境確認)  
出血の確認 (対処)

反応の確認  
救急車とAEDの手配をする

反応の確認をする 3回声をかける (声かけは3回だけ!)  
反応がなければ、直ちに「119番通報」自分の携帯電話で!  
大声で人を集め「AEDの手配」をする  
集まった人に協力してもらう

呼吸の確認  
↓  
胸骨圧迫開始の判断

呼吸の確認をする時には「気道確保」は不要  
胸とお腹の動きを観察します 10秒以上時間をかけない  
呼吸がない または 正常ではない呼吸 (死戦期呼吸)  
または わからない

胸骨圧迫  
↓  
電気ショック  
↓  
胸骨圧迫  
↓  
電気ショック  
↓  
胸骨圧迫  
⋮  
<繰り返す>

↓  
**直ちに胸骨圧迫を開始します**  
AEDが確保でき次第、直ちにAEDを使用します

胸の真中を圧迫 “ 強く! ・ 早く! ・ 絶え間なく! ”

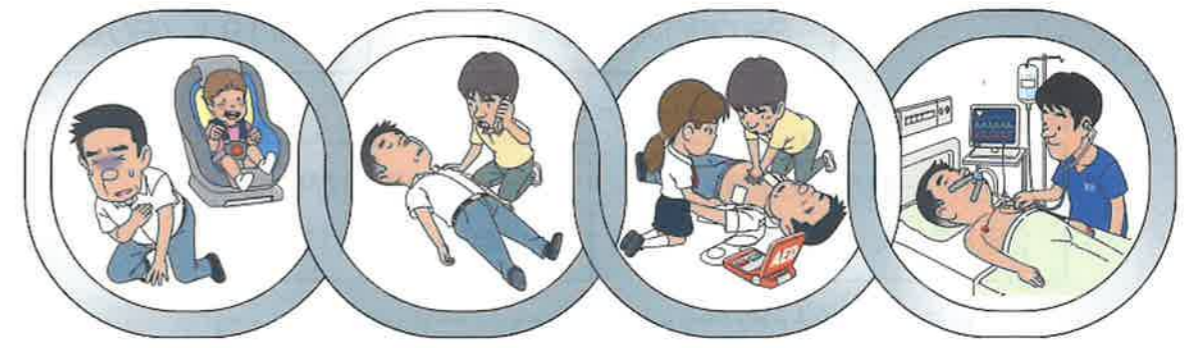
強	<	: 少なくとも 5cm以上 6cm未満 の深さ
早	<	: 100~120回/分の速さで
絶え間なく	:	連続30回以上 最小限の中断時間で
そして	:	圧迫の度に胸壁がもとに戻るように

AEDの使用は最小限の時間で行います 落ち着いて確実に  
AEDを使用後は直ちに胸骨圧迫に戻ります  
電気ショックの有無に関わらず胸骨圧迫に戻ります  
救急隊が来るまで または 傷病者が明らかに動くまでは  
胸骨圧迫を続けてください!  
胸骨圧迫の中断は「AEDを使用している間だけ」です

# 心肺蘇生法講習

## ガイドライン 2020

### Chain of survival



心停止の予防      早期認識と通報      一次救命処置 (心肺蘇生とAED)      二次救命処置と心拍再開後の集中治療

**胸骨圧迫を開始し続けます**

- 開始の条件を見極めて直ちに開始しよう!  
反応がなく普段通りの呼吸でない時は心停止
- 胸骨圧迫だけで十分です  
必ず開始し、続けましょう!
- 質の高い胸骨圧迫を提供しましょう!  
適切なテンポと圧迫の深さ  
圧迫ごとに胸壁がもとに戻るように  
胸骨圧迫の中断時間を最小限に